

子供の医療費もジェネリック医薬品にしてみませんか？

医療費を大切に使うために、
子供のお薬もジェネリック医薬品にしましょう。

大人のお薬では一般的になったジェネリック医薬品。しかし、子供のお薬ではまだ使っていないという方がいらっしゃるかもしれません。ジェネリック医薬品はお薬の成分や含有量だけでなく、成分がきちんと体内に吸収されるかまで厳密に検査されています。新薬と比較して効果や安全性に変わりはありません。子供のお薬でも安心してお使いいただけます。

子供の医療費の多くは健康保険の保険料や自治体の税金で賄われます。医療機関の窓口での支払いがないとしても、最終的には保険料や税金から支払われることとなります（下記参照）。安価な値段で同等の効果があるジェネリック医薬品を使用して、医療費を節約しましょう。



Q 子供の医療費はかからないので、節約しなくてよいのでは？

A 自治体による助成はありますが、実際には子供でも医療費は大人と同じようにかかります。治療内容によっては大人よりかかる場合もあります。

Q 本当に同じ効果があるのか、心配なのですが…。

A 効果などが心配な場合は、処方期間の一部だけをジェネリック医薬品にする「お試し調剤」が利用できます。調剤薬局で相談してみましょう。



子供の医療費は無料ではありません



皆さまが支払う保険料や自治体の税金で賄っています

■子供(小学校入学前)の医療費

財源は健康保険料

財源は住民税などの税金
(自治体の助成により税金で負担)

自治体の助成 2割

健康保険からの給付
(国民健康保険、健保組合、協会けんぽなど)

8割

子供の医療費は医療機関の窓口での支払いが少ないために、医療費がかからないように思えます。しかし、実際には医療費の多くは健康保険組合など公的医療保険が負担し、残りの窓口負担を自治体が税金で助成しています。「医療費がかからないから」と安易な受診が増えて医療費が多額になると、最終的に保険料や税金が増えることになり、皆さまの負担が増加してしまいます。

※自治体による助成制度はお住まいの自治体によって異なりますので、自己負担がかかる場合があります。助成の対象年齢や金額について詳しくは各自治体の窓口にご確認ください。

大事に使ってね

私たちの保険料と税金で賄っているのね

